

# よくあるご質問と回答：

## Arcserve Email Archiving

## Arcserve Email Archiving Cloud

---

### 1. 共通

#### Q1. アーカイブとバックアップは何が違うのでしょうか？

バックアップは「復旧」を目的として、対象となるデータのある瞬間の状態を保存する行為を指します。これに対しメールのアーカイブは、法令遵守や証拠保全のために対象ユーザのメールを常時複製して保管する行為を指します。

[Top へ戻る](#)

#### Q2. メールのアーカイブを必要とするのはどういった業種や規模の企業なのでしょうか？

特に業種や企業規模には関係なく、コンプライアンスや訴訟対策、証拠保全の為などにすべてのメールの確実な保管と参照が必要な企業でご利用いただけます。

[Top へ戻る](#)

#### Q3. Arcserve Email Archiving とはどいった製品なのでしょうか？

Arcserve Email Archiving / Arcserve Email Archiving Cloud（以後、クラウドサービスも含めた共通名称として **Arcserve Email Archiving と略記**）は、企業のメールの保管と監査や証拠開示の際に簡単、迅速に膨大なメールにアクセスするためのメールアーカイブソリューションです。Arcserve Email Archiving は、Microsoft 365 や Google Workspace (G Suite) などの大量のストレージを必要とするメールシステムのストレージの削減にも寄与します。

[Top へ戻る](#)

#### Q4. Arcserve Email Archiving と Arcserve UDP Archiving の関係を教えてください。

2020年6月に製品名称が変更され、Arcserve UDP Archiving は Arcserve Email Archiving になりました。同時に Arcserve UDP Cloud Archiving は Arcserve Email Archiving Cloud になりました。

[Top へ戻る](#)

#### Q5. Arcserve Email Archiving はどのメールシステムに対応していますか？

Microsoft Exchange Server、Microsoft 365、Google Workspace (G Suite)、Postfix に対応しています。

[Top へ戻る](#)

#### Q6. Microsoft Exchange Server の連絡先や予定表などもアーカイブできますか？

いいえ。アーカイブの対象は電子メールと、その添付ファイルのみです。

[Top へ戻る](#)



**Q7. Arcserve Email Archiving はどういった時に必要なのでしょうか？**

Arcserve Email Archiving 導入のメリットは、主に以下の2点です：

- 退職者のメールと法的開示要求に対応するために、メールシステムとは別の場所にメールを保管しておく必要があります。そうすることで、安全性が向上し、法規制やコンプライアンスを遵守できるようになります。しかも、運用中のメールシステムのストレージ需要が減少し、パフォーマンスを向上できます。
- Microsoft 365/ Google Workspace (G Suite)などのクラウドサービスで提供されるメールデータを、オンプレミスまたは Arcserve データセンタに保管する際に活用できます。メールを取り込み保管することでメールの検索が柔軟にできるようになるだけでなく監査証跡や破棄や保管のルールを徹底できるようになります。

[Top へ戻る](#)

**Q8. Arcserve Email Archiving サーバが、障害やメンテナンスなどの理由でサービスを停止した場合、その間の送受信メールはアーカイブ・保管できないことになりますか？**

いいえ。Arcserve Email Archiving サーバが停止中にアーカイブできなかったメールは、メールシステムが一定期間保留しており、Arcserve Email Archiving サーバがサービスを再開した時点でアーカイブします。保留期間の日数はメールシステムの設定のため、メールシステムの管理者に確認ください。

[Top へ戻る](#)

**Q9. アーカイブしたメールは暗号化して保管されますか？**

はい。圧縮と暗号化が行われた状態で保管されます。

[Top へ戻る](#)

**Q10. Arcserve Email Archiving は Microsoft Exchange Server/Microsoft 365 などにエージェントソフトウェアのインストールが必要ですか？**

いいえ、不要です。Email Archiving は、Exchange Server などのジャーナルを介して送受信されたメールを収集します。

[Top へ戻る](#)

**Q11. Arcserve Email Archiving は、保管したアーカイブを検索できますか？**

Arcserve Email Archiving は、メール件名、本文、送受信者、添付ファイルや送受信時期、タグやメモなど様々な検索条件で目的のメールを抽出することが可能です。結果画面からメールを表示すると、検索でヒットしたテキストが強調表示されます。メールは、タグを使用してタグ付けすることで高速に検索することが可能です。検索したメールを、単体メールは eml 形式で、複数メールは zip 圧縮ファイルとしてエクスポートできます。

[Top へ戻る](#)

**Q12. Arcserve Email Archiving は、防衛的破棄に対応できますか？**

はい、可能です。Arcserve Email Archiving は、企業全体の保持ポリシーに加えて、個々の保持ポリシーを定義できます。法規制に準拠するためにメールを保持する必要がある場合、保持期間が経過すると自動的に削除するよう設定することが可能です。

[Top へ戻る](#)



**Q13. ユーザは Arcserve Email Archiving からメールを削除できますか？**

はい、コンプライアンス管理者のみが任意のタイミングでアーカイブされたメールを削除できます。それ以外では管理者が指定した保持期間の満了まで削除されません。

[Top へ戻る](#)

**Q14. Arcserve Email Archiving はアーカイブ用ストレージ消費の削減の為、どのような工夫をしていますか？**

Arcserve Email Archiving はシングル インスタンス ストレージ (SIS) と圧縮を組み合わせて使用することで、アーカイブ用のストレージ容量を削減できます。メールのメッセージ ID を利用し、同じ ID のメールは 1 度だけ保管される仕組みになっています。

[Top へ戻る](#)

**Q15. Arcserve Email Archiving では、誰がメールデータにアクセスできますか？**

Arcserve Email Archiving の管理コンソールで管理者がアクセス権限を設定しますが、メールには一切アクセスできません。法務担当者など監査人の役割を持つユーザは、メールの検出と監査検索のために複数のメールボックスにアクセスできますが、エンドユーザは自分のメールボックスにだけアクセスを許可されます。Outlook プラグインを利用すると、使い慣れた Outlook の画面からエンドユーザ自身がアーカイブにアクセスできるため、メールボックスから削除されたメールを検索して復元することも可能です。

[Top へ戻る](#)

**Q16. Arcserve Email Archiving はマルチテナントに対応していますか？**

はい、Arcserve Email Archiving はマルチテナントに対応していますので、部門や拠点が分散している企業や環境で利用いただくことが可能です。また、管理サービスプロバイダが サービスとして提供も可能です。

[Top へ戻る](#)

**Q17. Microsoft 365 の先進認証に対応していますか？**

はい、Arcserve Email Archiving は先進認証が有効な Microsoft 365 (Exchange Online) 環境のメール送受信時のジャーナル転送から電子メールをアーカイブすることができます。また、Arcserve Email Archiving 6.5 以降では、先進認証が有効な Microsoft 365 環境から EWS Import ユーティリティを使用して過去メールをインポートすることができます。

(Arcserve Email Archiving 6.5 および 6.5 Update 1 ではパッチの適用が必要です。)

[Top へ戻る](#)



## 2. Arcserve Email Archiving

### Q1. Arcserve Email Archiving はどのように展開できますか？

Arcserve Email Archiving は、VMware ESXi、Microsoft Hyper-V 上に仮想アプライアンスとして展開できます。これらは、オンプレミスだけでなく、Microsoft Azure といったパブリック クラウドのインスタンスとしても展開できます。

[Top へ戻る](#)

### Q2. Arcserve Email Archiving サーバのバックアップはどのようにするのでしょうか？

Arcserve UDP Agent for Linux でバックアップしてください。ヘアメタル復旧にも対応しています。UDP Agent for Linux のライセンスは Arcserve Email Archiving に同梱されないため、別途 Arcserve UDP Advanced Edition 以上を購入してください。Arcserve UDP Advanced Edition を vSphere / Hyper-V 上で使用する場合は仮想化ホストの物理 CPU 数分のソケットライセンスが、Microsoft Azure インスタンスとして使用している場合はサーバ単位のライセンスが必要です。

[Top へ戻る](#)

### Q3. 購入したライセンス数以上のメールボックスの送受信をアーカイブできますか？

はい。メールアーカイブは継続されますが、ライセンスが割り当たらず利用条件を満たしていてもログインできないユーザがでできます。すべての従業員がログイン / 検索機能を利用するには不足するライセンスを追加購入し割り当てるか、検索不要な従業員のライセンスを開放し、ライセンスを再配分します。

[Top へ戻る](#)

### Q4. Arcserve Email Archiving は、どのようなライセンスが提供されていますか？

Arcserve Email Archiving は、ライセンス プログラムとサブスクリプションで提供されます。過去のメールを.pst ファイルや.box ファイル、eml ファイルから取り込むための機能も無償提供されています。

[Top へ戻る](#)

### Q5. 購入前のトライアルはできますか？

はい。30 日間の無償トライアルが可能です。

<https://www.arcserve.com/jp/free-archiving-software-trial/>から導入する環境に応じた、仮想アプライアンスをダウンロードして展開します。

[Top へ戻る](#)



## 3. Arcserve Email Archiving Cloud

### Q1. Arcserve Email Archiving Cloud はどのような特長を持つ クラウド サービス ですか？

Arcserve Email Archiving Cloud は、初期設定済の Arcserve Email Archiving サーバを提供するクラウド サービスです。お客様自身での展開作業や初期設定が不要になるだけでなく、購入いただいたストレージ サイズの範囲内であればメール ボックス数の制限無くメールをアーカイブできます。大容量のメール環境でもコストを抑え、クラウドでのメール アーカイブを実現できます。

[Top へ戻る](#)

### Q2. クラウドサービスの規約やサービス レベル基準の情報はありますか？

以下をご参照ください。

<https://www.arcserve.com/jp/cloud-services/>

[Top へ戻る](#)

### Q3. Arcserve Email Archiving Cloud のデータセンタはどこにありますか？

東日本リージョン（東京）にあります。高いセキュリティと信頼性を持つデータセンタを利用しています。

[Top へ戻る](#)

### Q4. Arcserve Email Archiving Cloud は注文からどれくらいの期間で使い始められますか？

初期構築に必要なドメイン名などの情報に不備が無ければ、注文から 7 営業日以内に Arcserve Email Archiving サーバへのアクセスを提供します。注文方法や発注時に Arcserve への連絡が必要な情報については[スタートアップガイド](#)をご参照ください。

[Top へ戻る](#)

### Q5. Arcserve Email Archiving Cloud にアーカイブできるメールの容量に上限はありますか？

価格表に掲載している Arcserve Email Archiving Cloud サーバの最大容量は 30 TB です。それ以上の容量をアーカイブしたい場合は、事前に弊社または販売店までご相談ください。

[Top へ戻る](#)

### Q6. 購入したストレージ容量に達した場合はどうなりますか？

Arcserve Email Archiving Cloud にアーカイブ（保存）されるデータ容量が、購入済みのストレージ容量の 80%を超えた時点で、購入時に指定したメール アドレスにアラート メールが送信されます。また、90%を超えた時点で新しいメールのアーカイブが停止します。容量が上限に達する前に追加のストレージ のサブスクリプションを購入してください。

なお、購入後にアラート メールのお知らせ先アドレスが変更される場合はテクニカル サポートにお問い合わせください。

[Top へ戻る](#)

### Q7. ストレージの追加時に、サブスクリプションの終了日を元の契約と揃えることはできますか？

はい、可能です。契約更改がシンプルになるので、終了日をそろえることをお勧めしています。個別での対応になるので、販売店経由で購入前にご相談ください。

[Top へ戻る](#)



**Q8. サブスクリプション期間終了後、サブスクリプションの再開は出来ますか？**

いいえ、サブスクリプションの再開は出来ません。また、サブスクリプション期間終了後にお客様のアーカイブデータの削除が行なわれます。

[Top へ戻る](#)

**Q9. サブスクリプションはいつまでに更新すればよいですか？**

サービスの継続利用を希望される場合は、サブスクリプション期間が終了するまでに継続のオーダーID 発行が必要です。従いまして、サブスクリプション終了日の 5 営業日前までに Arcserve へ継続の注文が届くように手配ください。目安として 2 週間前までに販売店へのご発注をお願いいたします。

[Top へ戻る](#)

**Q10. サブスクリプション期限が切れる前に Arcserve から通知はありますか？**

はい、サブスクリプション期限の 3 ヶ月前と 1 か月前に電子メールでお知らせいたします。通知先のメール アドレスはサブスクリプションの購入時に登録いただいたアドレスです。担当変更などでメール アドレスが変わる場合は、[Web フォーム](#)にて登録情報を変更してください。

[Top へ戻る](#)

**Q11. もっと詳細な情報が知りたい場合はどうすれば良いのでしょうか？**

Arcserve ポータルのカタログセンターや[ユーザガイド](#)で詳細な情報を参照いただけます。また購入前のご質問は[Arcserve ジャパン ダイレクト](#)でも承ります。

[Top へ戻る](#)

